

ファツィオリピアノの音の世界を、あなたに……

日本総代理店 ピアノフォルティ株式会社、始動！

文◎編集部 高坂はる香

ファツィオリピアノの音色の独特な美しさに触れたことは、あるだろうか？

豊かに響く、低音域。まろやかに輝く、高音域と中音域。

他のどのピアノとも一線を画すリッチな音の世界が、日本でもついに身近なものになりそうだ。



フルコンサートグランド『F308』の前で談笑するブーニン氏と中村氏。この前夜、美智子皇后が中村氏の演奏でファツィオリの音色を聴かれ、大変ご興味を持たれたという。この『F308』は全長308センチと一般的なフルコンより大きく、力強く芳醇な音色を実現。独自の第4ペダルは音色を変えずに音量のみ小さくするもの。鍵盤が浅くなり速いパッセージが弾きやすくなる

すところなく伝えた。

ファツィオリピアノの魅力を活かして、ファツィオリピアノの魅力を余すところなく伝えた。

「イメージした音楽が、そのまま音になる」
「頭でイメージした音楽が、何の夾雑物もなく、そのまま音になる……そんな経験をしました。これほど弾きやすいピアノは生まれて初めてです」
ファツィオリピアノに初めて触れた時の感動を表して、中村絃子氏はこのように語った。これまで日本に数台しかなく、「幻のピアノ」とさえ呼ばれたこのファツィオリピアノも、日本総代理店がオープンしたことはいよいよ本格的な日本上陸を果たしたと言える。

たと言える。

ピアノフォルティ株式会社の創業を記念してサントリーホール小ホールでおこなわれたレセプションでは、中村氏による祝辞をはじめ、パオロ・ファツィオリ社長と日本総代理店ピアノフォルティ株式会社のアレック・ワイル社長による連弾も！ミニリサイタルにはスタニスラフ・ブーニン氏が登場し、ロマンティックな中・低音を

「他のどんなピアノとも異なる オリジナリティー、ベルカントの音色」

パオロ・ファツィオリ氏
アレック・ワイル氏

1979年に誕生したファツィオリ社。

同社を創業したパオロ・ファツィオリ氏は、ローマで家具工場を営む家庭に6人兄弟の末っ子として生まれた。幼少よりピアノを始め、音楽大学に進みながら、家業を継ぐためにローマ大学で工学を学んだ。

「両方を同時に学ぶのはとても大変でしたが、やり遂げようという想いが強かったので実現できた……。卒業後ついに、音楽家とエンジニア、どちらの道に進むかという難しい選択を迫られる時がきました。そこで、この両方の知識を活かして、ピアノの世界で生きたいと思うようになったのです。技術者を集め、最初は家具工場の一角でス

タートし……こうして、私の冒険は始まったのです」(ファツィオリ氏)

ファツィオリならではの音色は、オリジナリティーと揺るごない自信から誕生した。

「私の中にはイタリアの歌曲の流れるようなベルカントのイメージがあり、そんな音を持つ個性あるピアノが造りたかった。他のどのメーカーの技術にも頼ることなく、むしろ批判的に検証することで、独自の技術を開発してきました。私の作品は、最初からどんなピアノの模倣でもありませんでした」

一方、今回日本総代理店創業の立役者であるアレック・ワイル氏は、ファツィオリピアノについてこう語る。「初めて弾いたとき、特別な音色に驚きました。どんなに問題を探してみても、ひとつも見つからない、最高のピアノだったんです。現在イタリアの工場では年間120台のピアノが職人の手造りで製造されています。そのすべてが、パオロが最後に試弾したお墨付きの品。彼も私も本当にピアノが大好きで、ピアノ造りを、心からの仕事と思って携わっているのです」(ワイル氏)

おふたりとも大のピアノ愛好家であ



©Yuka Yamaji

ファツィオリ家の兄弟たちは、家具製造を中心にそれぞれ仕事に携わっているが、とくに造船業をおこなう兄との交流がピアノ作りにもっとも得るものが多いという。造船には「水を相手にして特別な接着剤や塗装剤、木材などいろいろな知識が必要となる」ためだそう。ワイル氏は、「ファツィオリピアノの塗装仕上げの技術の高さは、とくにずば抜けている」と言うが、その秘密もこのあたりにあるのか……

り、意見を言いあえる関係も、今後のファツィオリピアノの日本での普及に良い影響をもたらすだろう。ファツィオリ氏は、現在のピアノ製造業界について、このように語った。「昔はたくさんのピアノメーカーがあったけれど、その多くが消えてしまいました。他の産業のグローバル化と同様、ピアノ製造でもビジネスが優先されるようになったためです。音楽にまず必要なのはすばらしい楽器であり、ビジネスではありません。独自の技術で、ひとつの個性あるピアノを丁寧に造っていく。これこそが正しい形だと私は思います」

お気に入りの音との運命的な出逢いを探すピアニストたちにとって、美しい音を持つピアノの選択肢が豊かになるのは嬉しいことだ。日本でまたひとつ、すばらしいピアノが身近になることで、芸術表現の可能性が広がる。

FAZIOLI

ピアノフォルティ株式会社
本社&ショールーム

[住所] 東京都港区海岸3-2-15
潮路橋ビル(JR 田町駅、都営三田駅、ゆりかもめ 芝浦埠頭駅)

☎ Tel: 03-6809-3534

E-mail: info@fazioli.co.jp

ホームページ <https://www.fazioli.co.jp>



©Yuka Yamaji

黒色ピアノ以外にも、木目調やアートケースモデルなどさまざまなピアノがある。また、ショールームは芸術作品を展示するギャラリーにもなっている。現在は、たしるちさと氏の絵画作品を展示中